

平成 19 年度文部科学省「全国学力・学習状況調査」（平成 19 年 4 月 24 日実施）
～結果分析と今後の対策～

江戸川区立瑞江中学校

【学習状況調査から】

本校生徒の実態として、「将来の夢や目標を持っているか」「自分には良いところがあるか」「失敗をおそれず挑戦しようとしているか」などの多くの質問項目で、全国や都の平均を大きく上回って肯定的に答えているという結果が明確になった。「優しい心」や「規範意識」も高い。「学習への関心」も高く、「勉強は大切だと考えている生徒」も多かった。大変良い結果であった。引き続き指導していきたい。

【国語】

・以下のグラフは、調査の結果である。

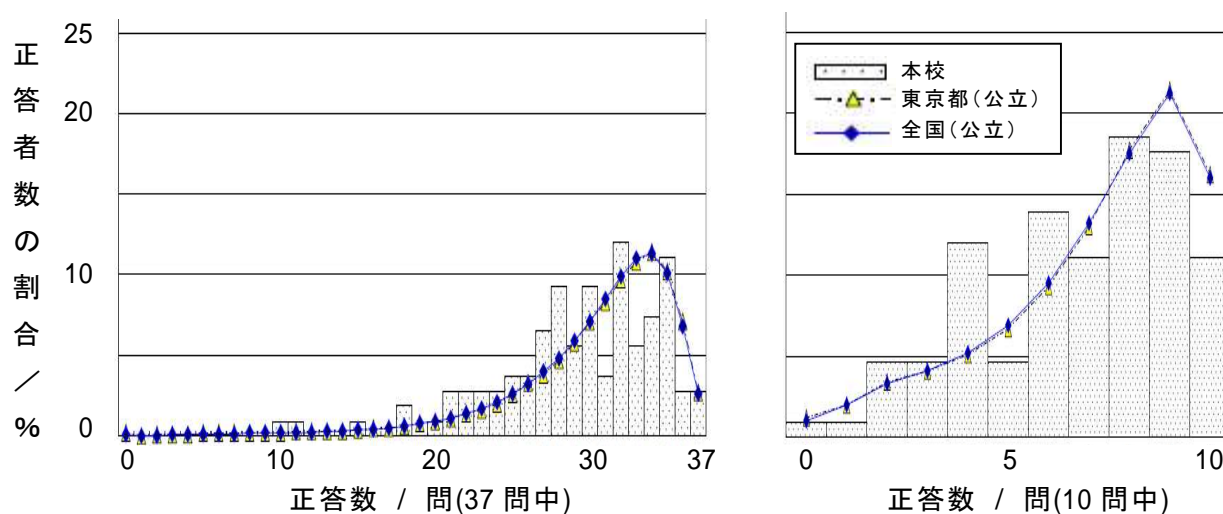


図1 正答数分布グラフ (左) 主として知識 (右) 主として活用

1. 結果分析

本校の生徒は、全体的にみると、書く能力は平均より高い。さらに国語に関する「関心・意欲・態度」は非常に高い。他方、今回の「国語B：主として活用」にあるような問題形式にとまどいを感じたようであった。また、漢字や敬語の使い方など、日常生活にうまく生かしていない点が見られた。これらは今後の課題である。

2. 今後の対策

- * 問題文を正確に読み取り、答えを導き出すことに慣れていないので、練習問題を取り入れて問題形式に慣れさせる。
- * 定期的に小テストを行い、漢字の読み書き・熟語・ことわざ・故事成語などの語彙力を高める。
- * 敬語の使い方や手紙の後付の書き方など、基本的な知識の定着を図る。
- * 話し合い活動や自分の思いや考えを書く活動は今後も頻繁に授業に組み入れていくことで「話す力・聞く力」「書く力」の充実を図る。

【数学】

・以下のグラフは、調査の結果である。

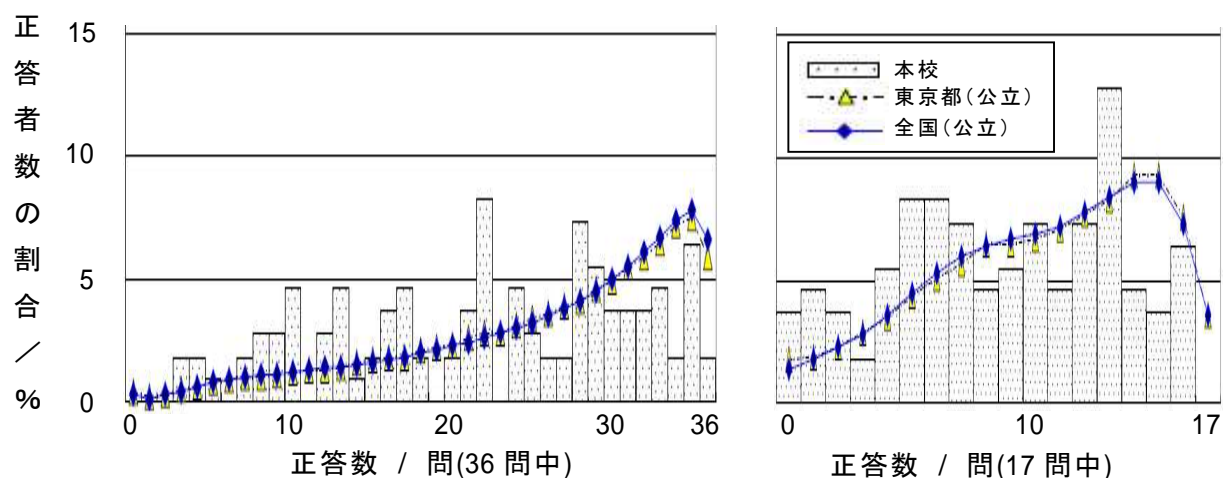


図2 正答数分布グラフ (左) 主として知識 (右) 主として活用

1. 結果分析

本校の生徒は、決められた手順で解ける問題はできる生徒も多いが、それでも図形や確率・関数の分野では、理解が難しい生徒も少なくない。

また、空間図形に対するイメージ力も不足していると思われる。

数学は難しいが、大切であるし、わかりたいと思う生徒が多いので、力をつけていくための考え方の基本や、学習方法も含めて指導を行う必要がある。

2. 今後の対策

* 基本的な計算のくり返し学習を取り入れていくために、宿題を出す。

* 単元ごとに小テストを実施し、生徒個人の苦手分野がわかるようにしていき、土曜学習等でその単元を特に補充していくようにする。

* 関数では、事象の中の数量を意識させ、定数と変数の区別を明確にししながら、関数としてとらえていけるような指導を心がける。

* 図形では、具体物や教具を活用し、イメージ力を養うようにする。

* 計算コンテストを実施するにあたり、事前学習を班の助け合いによりすすめる等の工夫をし、定着を図る。

* 授業では、基礎基本をおさえるだけでなく、発展的な気づきを喚起するように仕向けていく。